



アクシス耐震スリット

施工マニュアル

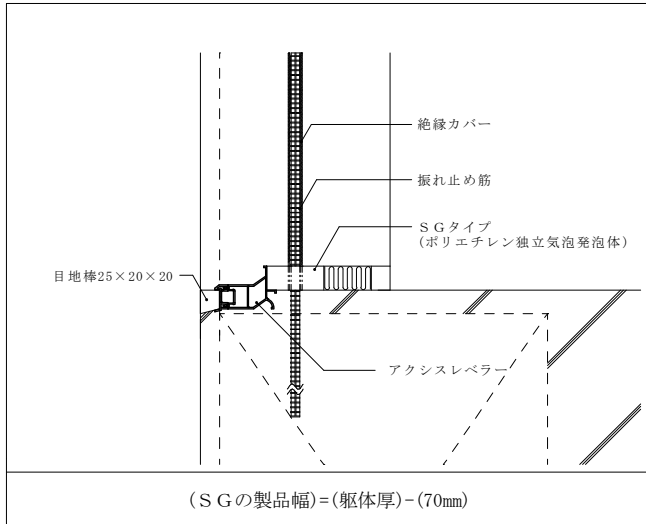
アクシスレベラー タイプ
耐火仕様

アクシス株式会社

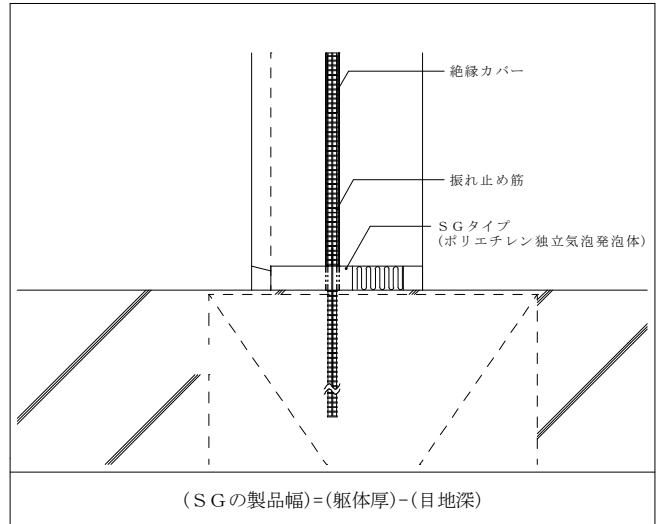
水平スリット 製品規格

型式 品種・寸法 (mm)			
厚み	製品幅	定尺	左記以外の厚み、または製品幅をご希望の場合はご相談下さい。
15・20・25・30 35・40・45・50	80～500	L-2, 025 (M)	

■妻側完全水平スリット (アクシスレベラー)



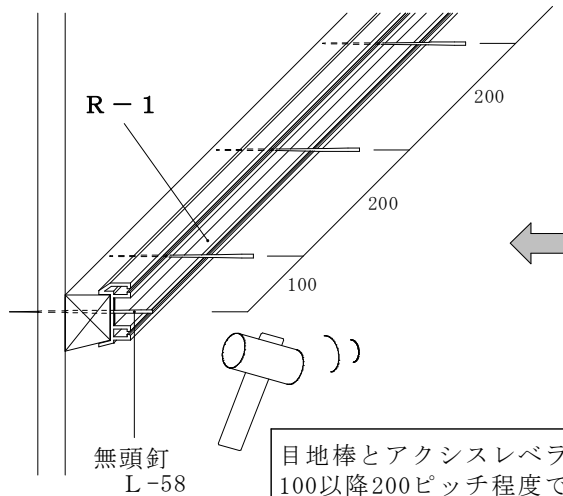
■完全水平スリット



妻側完全水平スリット 段差タイプ (アクシスレベラー) の場合

1

振れ止め筋は、設計図書通りに取り付けて下さい。

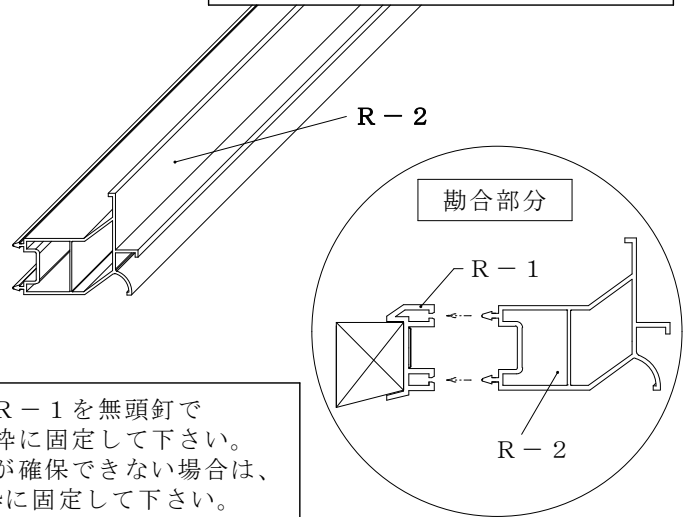


無頭釘
L-58

目地棒とアクシスレベラー・R-1を無頭釘で100以降200ピッチ程度で、型枠に固定して下さい。また、端部で上記のピッチ数が確保できない場合は、端部から100ピッチ以内で型枠に固定して下さい。

※納品時、目地棒・R-1・無頭釘はセットされています。

R-1にR-2を差し込みます。



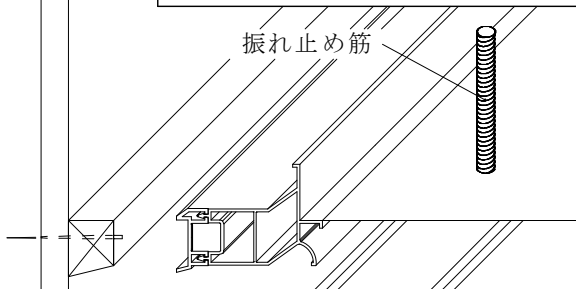
勘合部分

R-1

R-2

2

コンクリートを打設し、型枠を解体する際、無頭釘と目地棒を外して下さい。



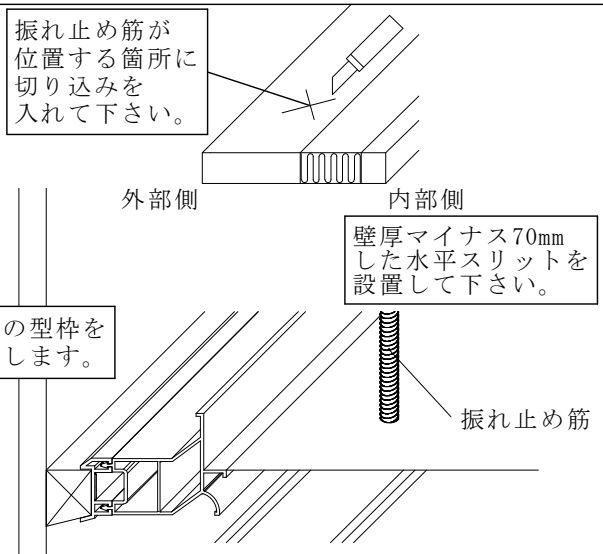
振れ止め筋

《コンクリート打設時の注意》

ジャンカを防ぐ為、外部側からハンマーで型枠を打つ際、その衝撃によりアクシスレベラーが浮き上がる危険性があります。型枠を打った後は、必ずご確認下さい。

3

振れ止め筋が位置する箇所に切り込みを入れて下さい。



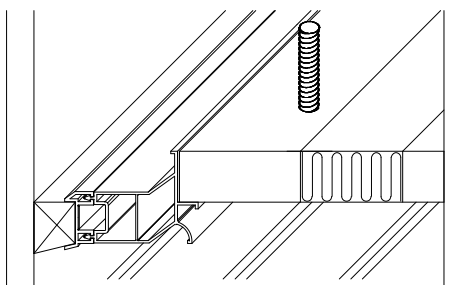
外部側

壁厚マイナス70mmした水平スリットを設置して下さい。

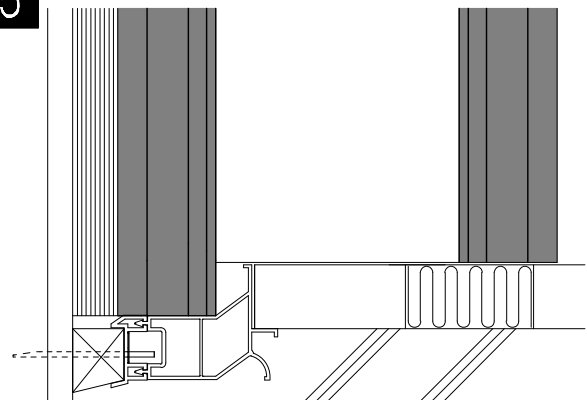
上階の型枠を設置します。

振れ止め筋

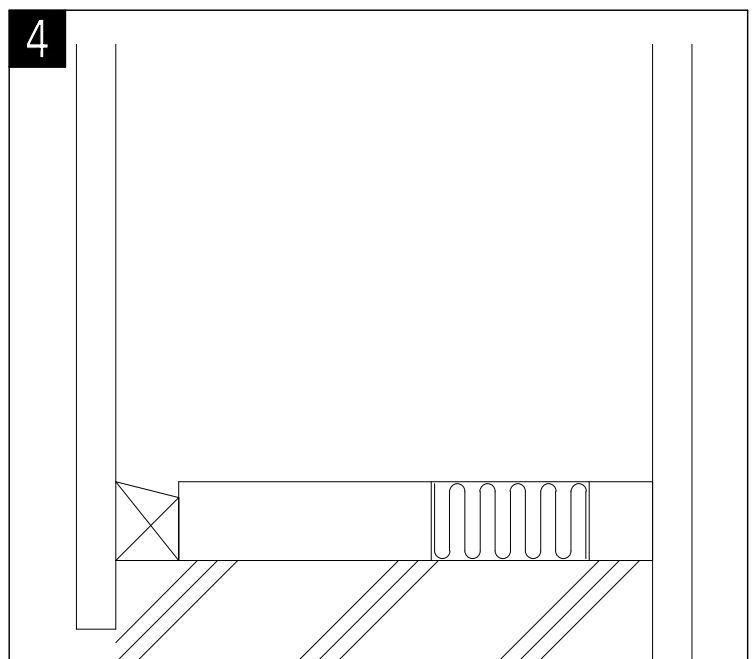
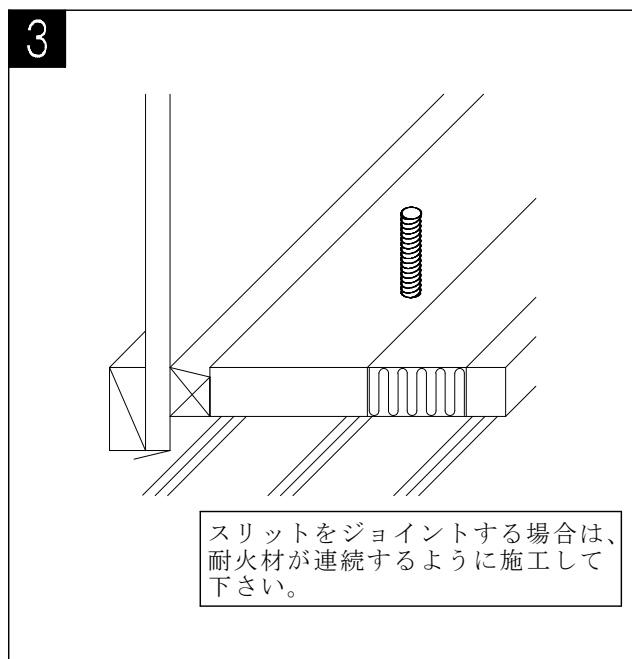
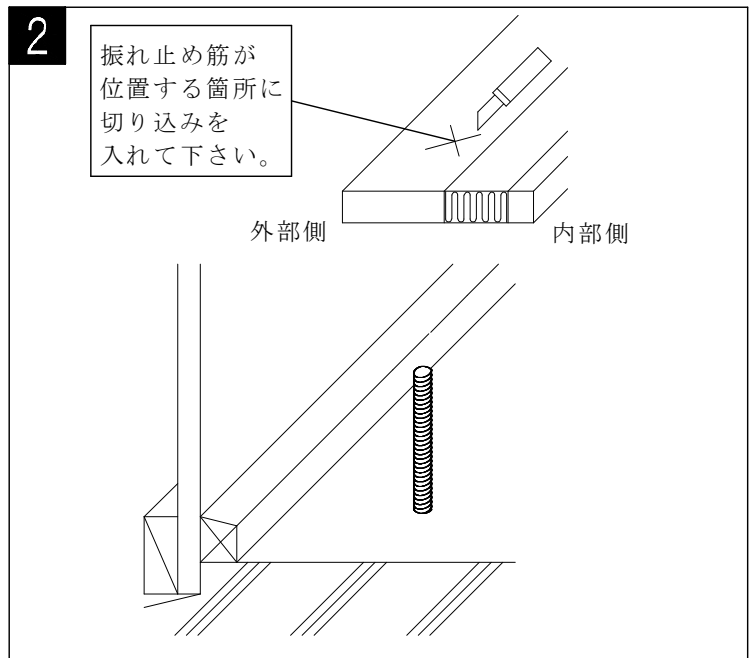
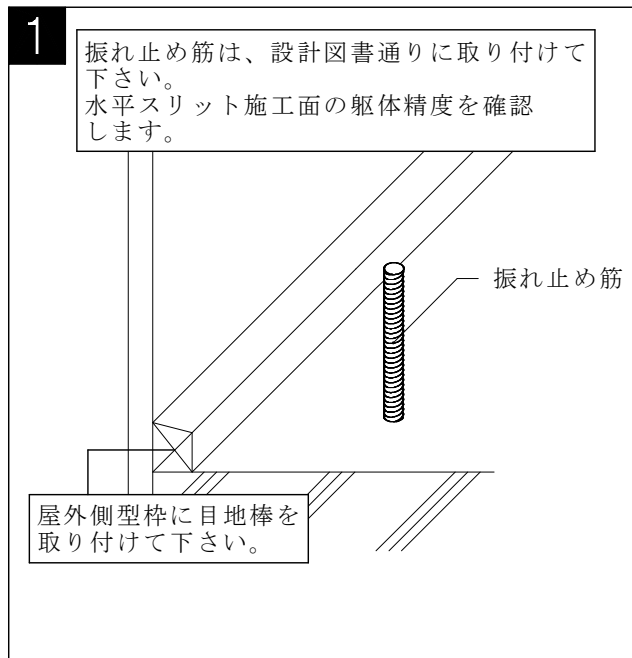
4



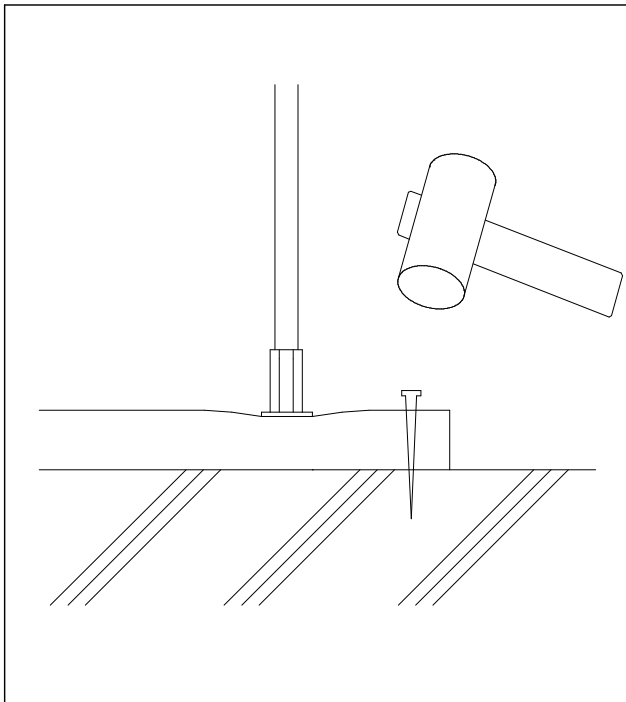
5



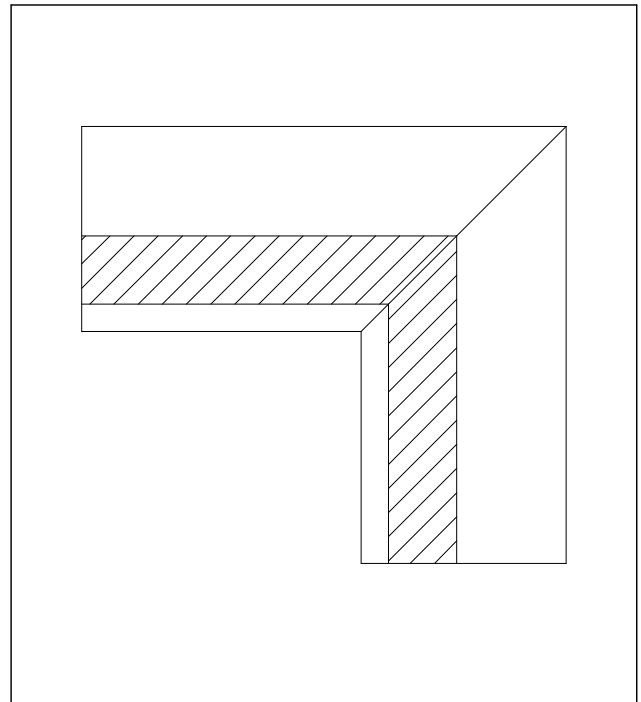
完全水平スリット



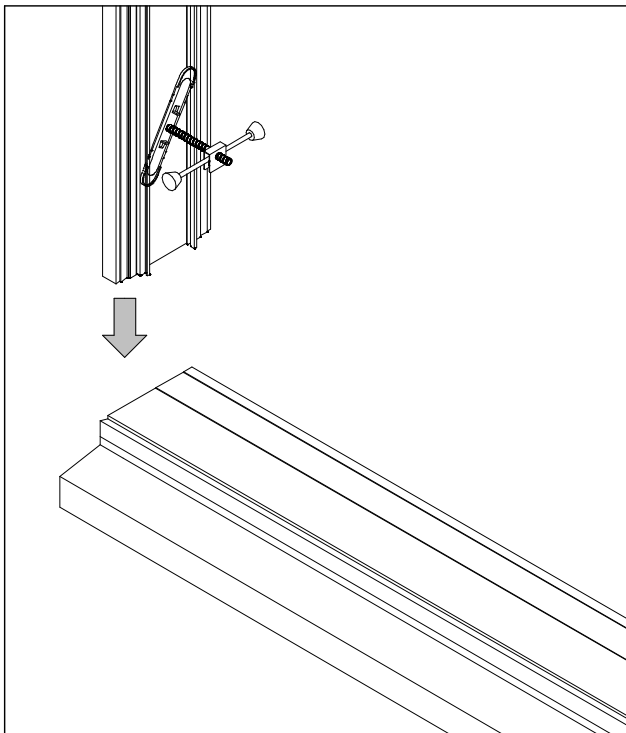
● 標準施工例 ●



壁配筋の過重により、水平スリットの端部が反り上がってしまわない様、コンクリートに釘で固定して下さい。



耐火材が不連続になる場合は、水平スリットを斜めにカットし、耐火材を連結させて下さい。



水平スリットの上に必ず垂直スリットをセットして下さい。